

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市美術館	千葉市民ギャラリー・いなげ
条例上の設置目的	千葉市美術館条例（平成7年千葉市条例第34号）（抄） 第1条 本市は、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、次のとおり千葉市美術館を設置する。	千葉市民ギャラリー・いなげ設置管理条例（昭和63年千葉市条例第40号）（抄） 第1条 本市は、市民の美術作品の発表及び鑑賞並びに制作のための施設として、次のとおり市民ギャラリーを設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	本市における美術振興の核となる施設として、博物館法（昭和26年法律第285号）に規定する美術館の役割・機能を着実に果たすとともに、文化面から千葉都心の集客を図り、市民サービスの向上に寄与する。	市民に身近な芸術活動の拠点として、幅広い世代の人々が親しく美術に触れ合う場となるとともに、歴史的建造物の保存・活用を推進する。
ミッション （施設の社会的使命や役割）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と密接に結びついた市民参加型の美術館であること。 ・生涯学習の機能を兼ね備えた美術館であること。 ・首都圏の中で埋没することのない個性を備えた魅力ある美術館であること。 ・市民の文化・芸術の拠点として市の発展とともに成長する美術館であること。 ・現代から未来を志向し、国際的視野から市民の美意識を育てる質の高い美術館であること。 ・体験を中心とした事業を実施し、美術に関する市民の創作活動等を支援すること。 	【市民に身近な芸術活動の拠点】 <ul style="list-style-type: none"> ・美術作品の展示・制作の場 ・美術作品の制作指導等の実施 ・歴史的建造物の管理及び公開等による活用
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、指定管理者が、市の求めるビジョン・ミッションや施設の特性を踏まえつつ、専門性や企画力などのノウハウを活用しながら、開館時間の延長、参加・体験型事業の充実、多言語化対応などの具体的な取組みを進めることにより、多くの市民が、各施設において、文化芸術を鑑賞、体験し、創造活動につなげることができるような環境が構築され、市民サービスが向上することを期待する。	
成果指標※	① 展覧会（常設展を含む）入場者数 ② 施設稼働率 ③ 体験・参加型事業の利用者数	① 利用者数（市民ギャラリー・いなげ） ② 利用者数（旧神谷伝兵衛稲毛別荘） ③ 施設稼働率
数値目標※	① 200,000人以上 ② 48%以上 ③ 15,000人以上	① 34,000人以上 ② 11,500人以上 ③ 55%以上
所管課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市教育振興財団	
構成団体 （共同事業体の場合）		
主たる事業所の所在地 （代表団体）	千葉県千葉市中央区弁天3丁目7番7号	
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年）	
選定方法	非公募	
非公募理由	美術館の拡張整備（リニューアル）を契機とした新たな事業展開において、市との連携を図りながら、市民サービスの充実や質的な向上が求められる中、展覧会の実施や美術品の収集など事業実施までに中長期的な期間を要することが多く、十分な研究成果や豊富な経験に裏付けされた専門的知見を有する職員が継続的に携わる必要があることなど美術館としての施設特性を踏まえ、同一団体が継続して担うほうが、施設の管理は合理的かつ効果的であるため。	展覧会の企画や講習会の実施等に当たり美術品の展示に関する専門性を要するとともに、隣接する国登録有形文化財（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）の管理に係る経験等も要求されるものであるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入	

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 千葉市美術館

成果指標	数値目標※	R4年度実績	達成率
展覧会（常設展を含む）入場者数	200,000人以上	126,412人	63.2%
施設稼働率	48%以上	38.8%	80.8%
体験・参加型事業の利用者数	17,000人 (15,000人以上)	19,070人	112.2% (127.1%)

※数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

成果指標	数値目標※	R4年度実績	達成率
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	34,000人以上	20,722人	60.9%
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	11,500人以上	7,289人	63.4%
施設稼働率	55%以上	48.6%	88.4%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指 標	R4年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

費 目	R4年度	【参考】 R3年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	542,886	545,027	実績－計画 14,535	国の補助金による増
	計画	528,351	543,884	計画－提案 1,386	人件費の高騰による
	提案	526,965	529,613		
利用料金収入	実績	41,678	48,654	実績－計画 △ 45,953	観覧料収入の大幅減による
	計画	87,631	90,604	計画－提案 △ 3,029	企画展の内容見直しによる
	提案	90,660	85,086		
その他収入	実績	12,628	24,916	実績－計画 △ 13,027	ミュージアムショップの売上減による
	計画	25,655	31,124	計画－提案 △ 450	
	提案	26,105	25,805		
合計	実績	597,192	618,597	実績－計画 △ 44,445	
	計画	641,637	665,612	計画－提案 △ 2,093	
	提案	643,730	640,504		

イ 支出

費目	R4年度	【参考】 R3年度	計画実績差異・要因分析			
			差異	主な要因		
人件費	実績	154,947	153,099	実績-計画	△ 6,755	職員の退職による
	計画	161,702	157,568	計画-提案	△ 4,101	職員の異動による
	提案	165,803	163,137			
事務費	実績	125,003	90,826	実績-計画	35,943	光熱水費の高騰による
	計画	89,060	97,443	計画-提案	△ 339	
	提案	89,399	94,427			
管理費	実績	0	0	実績-計画	0	
	計画	0	0	計画-提案	0	
	提案	0	0			
委託費	実績	173,688	165,227	実績-計画	4,247	デジタル化推進事業の実施のため
	計画	169,441	167,658	計画-提案	△ 18,989	委託費の縮減による
	提案	188,430	188,380			
その他事業費	実績	199,523	207,143	実績-計画	△ 11,470	諸謝金、印刷製本費等の縮減による
	計画	210,993	232,083	計画-提案	27,401	負担金等の増加による
	提案	183,592	183,588			
間接費	実績	9,559	9,517	実績-計画	△ 882	
	計画	10,441	10,860	計画-提案	△ 565	
	提案	11,006	10,972			
合計	実績	662,720	625,812	実績-計画	21,083	
	計画	641,637	665,612	計画-提案	3,407	
	提案	638,230	640,504			

間接費の配賦基準・算定根拠

公益法人会計基準に則り6つに区分し、本部経費については、従事割合等の配賦基準により各会計に配賦計上。法人会計に配賦した費用から基本財産、特定資産の運用益等の収益を差し引いた差額を、法人会計以外の5つの会計へ配賦した額の割合で按分し、法人会計の財源として一般管理費に計上する。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】 R3年度
自主事業収入	実績 12,690	4,381
その他収入	実績 0	0
合計	実績 12,690	4,381

イ 支出

(単位：千円)

費目	R4年度	【参考】 R3年度
人件費	実績 2,736	680
事務費	実績 1,542	828
管理費	実績 0	0
委託費	実績 6,128	1,531
使用料	実績 0	0
事業費	実績 2,070	1,031
利用料金	実績 278	59
その他事業費	実績 0	0
間接費	実績 40	121
合計	実績 12,794	4,250

間接費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R4年度	【参考】R3年度
必須業務	収入合計	597,192	618,597
	支出合計	662,720	625,812
	収 支	△ 65,528	△ 7,215
自主事業	収入合計	12,690	4,381
	支出合計	12,794	4,250
	収 支	△ 104	131
総収入		609,882	622,978
総支出		675,514	630,062
収 支		△ 65,632	△ 7,084
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

ア 千葉県美術館

評価項目	市の評価	特記事項
展覧会入場者数	D	
施設稼働率	D	
体験・参加型事業の利用者数	A	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数 (市民ギャラリー・いなげ)	D	
利用者数 (旧神谷伝兵衛稲毛別荘)	D	
施設稼働率	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	デジタル化推進事業に伴う委託料の増額分(14,536千円)は除いて評価する。(選定時の提案額と同額)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
 B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
 C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
 (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
 -：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	C	
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力	C	C	
(1) 人的組織体制の充実			
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務			
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮	C	C	
(1) 幅広い施設利用の確保			
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免			
利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実			
利用者への支援			
利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施			
施設の事業の効果的な実施			
自主事業の効果的な実施			
4 その他	C	C	
市内業者の育成			
市内雇用への配慮			
障害者雇用の確保			
施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
アンケートの自由記述欄について分析に努められたい。	令和3年度	アンケートは毎日回収し、定例の館内会議にあげて全体で共有し、運営や、施設への要望などで可能なものはすぐに対応している。多くは展示の感想であり、次の企画のために参考にしていく。 (対応例) ○撮影している人が鑑賞の妨げになる→撮影可能箇所を都度検討し、注意表記なども加えた。○ギャラリートークや団体鑑賞がうるさい→入口に表示を出す、ショートレクチャーに代えるなどで対応 ○館内行き先エレベーターが分かりづらい→インジケーター部分や扉面などに表記を増やした。1Fにも表示板を新たに設置した ○キャプション文字が小さい→大きいキャプションケースを購入し、文字フォントも変えて対応
作品の撮影可にするなど、参加者を通した情報発信等を検討されたい。	令和3年度	著作権や所有者の意向等の問題のない作品の一部は、撮影可能としている。撮影の楽しみが得られ、積極的な発信がなされるよう促しているところである。一方で、来館者間のトラブルもあるため、展覧会の内容によりその都度、撮影範囲や運用については検討している。
学校等の鑑賞教育での借上バスによる送迎について評価できる。	令和3年度	5年度も「みる・しる・できる・びじゅつプログラム」として学校団体の受け入れを積極的に継続していく。送迎バスも継続し20回分の来館予定が決まっている。コロナ禍で減少していた企画展の団体見学の受け入れ（特に学校）も復活させてゆく。

<p>企画力のある美術館であることから、大型な企画をしていく場合には、巡回展にするなど、他の美術館を巻き込むよう検討されたい。</p>	<p>令和3年度</p>	<p>物価高、固定費の上昇で、大型展はますます巡回館を募らなくては成り立たなくなっている。古美術展など展示期間が伸ばせない展覧会もあるので、連携のメリット・デメリットのバランスをとりながら検討してゆく。 メリット：輸送費等共通経費を折半できる／図録等を共同で刊行でき、制作数を増やして単価が下げられる／巡回館のコレクションや情報などが活かせる デメリット：作品の展示可能期間が短くなったり、展示できない会場が出るなど、出品交渉や展示計画が困難になる／経営の異なる館との費用折半や共通事務が難しい。事務局を新聞社などに外部委託すると経費が余計に必要となる。</p>
---	--------------	---

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

ア 千葉市美術館

<p>実施内容</p>	<p>調査方法</p>	<p>展覧会の会場にアンケート用紙・ボックスを設置し、来場者の意見等を収集した。(このほかに、イベントごとに終了時に用紙を配布し、意見の収集をした。施設利用者へは、利用後の報告用紙に意見等を記入してもらっている。受付などで受けた意見については日報に記録し、集約している。)</p>
	<p>回答者数</p>	<p>534件</p>
	<p>質問項目</p>	<p>年齢、性別、住所、交通手段、展覧会を知った媒体、来館回数、展覧会の感想、その他本施設に対する意見</p>
<p>結果</p>	<p>ア 回答者の属性： 年齢 (10歳未満 4%、10代 8%、20代 11%、30代 9%、40代 13%、50代 21%、60代 17%、70代 11%、80歳以上 4%、無回答 2%) 性別 (男性 43%、女性 53%、無回答 4%) 住所 (市内 37%、県内 29%、関東9%、都内 20%、その他 2%、無回答 3%)</p> <p>イ 交通手段： J R千葉駅より徒歩 25%、J R千葉駅よりバス 7%、J R千葉駅よりタクシー 0%、京成千葉中央駅 15%、モノレール 6%、自家用車 21%、自転車 6%、その他 7%、無回答 13%</p> <p>ウ 展覧会を知った媒体 (複数回答)： 新聞 7%、雑誌・ミニコミ 1%、テレビ・ラジオ 7%、チラシ 15%、ポスター 6%、市政だより 2%、知り合いから 11%、友の会・美術館ニュース 6%、千葉市美術館ホームページ 18%、その他インターネットサイト 9%、館に来て 2%、千葉市美術館SNS 6%、その他 10%</p> <p>エ 来館回数： はじめて 31%、2～3回 18%、4～5回 9%、6回以上 40%、無回答 2%</p> <p>オ 感想： 大変よかった・期待以上 62%、よかった・期待どおり 27%、普通 6%、あまりよくなかった 0%、よくなかった・期待はずれ 1%、無回答 4%</p>	

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

<p>実施内容</p>	<p>調査方法</p>	<p>ギャラリー棟・別荘にアンケート用紙と回収箱、ギャラリー棟に意見箱を用意し、来館者の意見を収集した。</p>
	<p>回答者数</p>	<p>1,082件</p>
	<p>質問項目</p>	<p>来館日、性別、年齢、住所、利用施設、申込・受付方法、施設の管理・清掃、受付・窓口の対応、気づいた点</p>
<p>結果</p>	<p>ア 回答者の属性： 年齢 (10代 5%、20代 5%、30代 7%、40代 13%、50代 20%、60代 23%、70代 22%、80代以上 6%) 性別 (男性 40%、女性 60% 回答無し0%) 住所 (中央区 7%、花見川区 10%、稲毛区 19%、若葉区 3%、緑区 4%、美浜区 15%、県内他市26%、県外その他17%)</p> <p>イ 利用施設： ギャラリー棟 41%、別荘 59%</p> <p>ウ 申込・受付方法： 今のままでよい 99%、改善してほしい 1%)</p> <p>エ 清掃状況 ギャラリー棟 (良い 94%、普通 6%、良くない 0%) 別荘 (良い 99%、普通 1%、良くない 0%)</p> <p>オ 窓口・受付対応 ギャラリー棟 (良い 95%、普通 5%、良くない 0%) 別荘 (良い 98%、普通 1%、良くない 1%)</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

ア 千葉市美術館

主な意見・苦情	指定管理者の対応
キャプションの文字のサイズが小さい	<p>展覧会の主な来客年齢層、展覧会と作品の分野（現代美術か古美術か、ケース内展示か額の壁展示か、個別解説があるかどうかなど）によって、キャプションのサイズや文字フォント、デザインを変えた。平均して文字サイズを大きくできるように、大きいキャプションケースを順次制作購入し、従来より面積で3倍のサイズのものを中心として用いるようにした。また、解説の文字数を減らしたり、わかりやすい短いリード文やキャッチフレーズを別に添えるなど、内容の工夫も凝らした。</p>
スマホを使ってアンケートに回答できるようにしてほしい	<p>以下の3種の方法を検討、準備中である。（展覧会アンケート以外についてはホームページにすでにご意見欄があるのでスマホで回答できる。）</p> <p>（1）展覧会アンケートは来館者に回答してもらいたいため、現場での回答が紙だけでなくタブレットでもできるようにする。（2）来館者が後刻同じアンケートをゆっくりスマホや別の場所で記入して送信したい場合のために、来館者のみが回答できるフォームを用意し、現場でQRコードでアドレスを配布する。（3）より簡単な内容（住所・年齢など来館者の属性のみ）のアンケートをタブレットで多くの人が答えられるよう受付横に用意する。（コロナで取りやめていたのを復活）</p> <p>いずれもが可能になったのちも、紙のアンケートは、直筆で自由記述のため伝わることも多く、継続したい。</p>

イ 千葉市民ギャラリー・いなげ

主な意見・苦情	指定管理者の対応
知られていないと思うので、宣伝が必要だと思います。もっと周知されてもよい貴重な施設だと思います。	<p>従来の紙媒体での広報に加え、Webサイトをはじめ、ツイッター、フェイスブックの企業アカウントを運用し広報をデジタル化しての発信に努めた。</p> <p>それに加え、市内に47館ある公民館のデジタルサイネージに施設紹介動画を放映し、更なる広報に努めた。</p>
保護者が利用できる乳児用の設備を整えてほしい。	<p>身障者トイレ内におむつ交換台を設置した。</p>

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p> <p>【美術館】令和4年度も9本の企画展を開催、巡回展を含めいずれも千葉市美術館学芸員が主導して行った意欲的な自主企画展であった。90%の観覧者が「大変よかった」「よかった」との感想を示している。全体経費に占める監視等人員費や電気代など固定費の割合が増大圧迫する中、自主企画ならではの工夫で、コスト削減しつつも、充実した内容を築けたことで、観覧者に与えた満足度が非常に高かった。中でも「新版画 進化系UKIYO-Eの美」は、千葉市美術館のコレクションによって仕立てられ全国を巡回した展覧会で、近年の新版画人気を作り出してきた当館の活動の集大成である。巡回展で制作の図録が千葉市美術館のコレクション図録となり、来館者も多く、意義深い実績となった。「亜欧堂田善展」も、調査研究・準備に5年近くかけた充実した内容で、知名度が高いとは言えない画家ながら、全国から1万人を超える来館者を集めて、千葉市美術館ならではの存在感も示せた。作家初の大回顧展となった「清水九兵衛／六兵衛」では、大型作品を1階さや堂ホール会場に展観、併せて現代の若手陶芸作家の関連展示や陶器市なども開催して、全体では1万人近い来場者があり、技術の継承にも貢献した。一方で「とある美術館の夏休み」展のような多様性に目を向け美術館を問い直す企画も行い一石を投じている。こうした地道な調査研究と自主企画の活動の成果として、常設展で毎月の時宜にふさわしいテーマ展や「新収蔵作品展」が開催でき、千葉市のコレクションの価値を高めた。その周知については、収蔵品管理システムとホームページの改修やデータの整備を行い、データベースの公開へこぎつけたことは大きな進捗であった。体験・参加体験型としてリニューアル後拡充された「つくりかけラボ」などの事業は、定着してきており、若年層を中心に来場者ものべ3万人を超えるなど、参加者人数についても目標を上回った。</p> <p>貸出施設の利用者数・稼働率については、目標値には届かなかったものの、昨年度に比べ増加している。地道な広報活動等により、諸室の貸出事業が徐々に浸透してきたと言える。</p> <p>【いなげ】6本の展示事業を行い、来場者数も、特に人気展が1本あって好調だった昨年度にも近い水準にまで戻ってきた。近隣の公民館や学校との連携事業も積極的にいき、その関連の講座やイベントへの参加者数は、前年度実績を上回っている。特に、「いなげ八景水彩画コンクール」や「いなげ八景ツアー」、「いなげ八景を描く」連続企画など、稲毛地域への愛着を深め、地域文化・アート拠点としての役割を果たした。また神谷伝兵衛の紹介動画や、道案内用の動画など、自主制作した動画をユーチューブで配信するなど広報に努め、展示にも生かすことができた。</p>
------------------	----------	--

(2) 市による評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p> <p>【千葉市美術館】子どもアトリエを活用した「つくりかけラボ」では全て対面での事業を実施したり、外部からの依頼に対して、各学芸員の専門分野に応じて講師を派遣する事業を実施するなど、新型コロナウイルス前の施設運営に徐々に戻りつつある。また、講堂や市民アトリエなどの各貸出施設の利用者も令和3年度に比べて増加し、市民利用も回復してきていることがうかがえる。一方で、企画展と常設展の観覧者数は昨年度よりも少なくなったことにより、観覧料収入が大幅に減少した。観覧者数の増減が直接影響するミュージアムショップの売上もあわせて減少した。より集客の見込める展示内容の企画や、集客方法について改善が必要である。また、収支についても縮減ができた費目が多くある一方で展示に係る委託費などが計画時よりも大幅に増えたこともあり、企画展の開催にあたり経費を精査する必要がある。</p> <p>【千葉市民ギャラリー・いなげ】令和3年度に引き続き、建物・庭園内ともに日常清掃が行き届いているという評価をいただいている。展示室や制作室の利用率が昨年度よりも伸びていることから、作品の制作、展示の場としての今後の利用増が期待できる。旧神谷伝兵衛稲毛別荘での撮影利用やメディア露出もあったが、施設職員の方で適正に対応いただいている。旧神谷伝兵衛稲毛別荘への入館者数が令和3年度に比べて減少しているため、継続して施設の魅力発信をし、多くの方が知るきっかけ作りに取り組まれない。</p>
------------------	----------	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア 市の作成した年度評価案の妥当性について 市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p> <p>イ 管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について (ア) 他県の美術館等との連携や広報のターゲットングについて工夫をされたい。 (イ) 指定管理者の財務状況について、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、光熱水費の増加に注意は必要だが、財務状況は良好であり、特段の問題はみられないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
